

復興の歩みと地域の新しい挑戦をめぐる2日間

福島
の今と、これからを見に行こう。

震災から15年。

旅行会社

観光関連事業者

自治体等のご担当者

ご旅行期間 1泊2日

2026

12|10|
THU

12|11|
FRI

ふくしま ホープツーリズム

企業研修

視察の旅

今後の旅行商品造成や、企業・団体への提案につながる視察ツアーとしての可能性を検証します

モニター
ツアー

郡山駅発着
旅行代金
0円

12|10
THU

郡山駅 [常磐道] 9:45
東日本大震災・原子力災害伝承館 11:40
FUTATABI FUTABA FUKUSHIMA 12:40
復興祈念公園 13:45
震災遺構 浪江町立請戸小学校 14:10
大平山霊園 14:50
中間貯蔵事業情報センター (CREVAおおくま) 15:30
バウムハウスヨノモリ 16:50
Jヴィレッジ 18:00

食事

朝: ×
昼: ○
夕: ○



東日本大震災・原子力災害伝承館
震災・原発事故直後から現在までの経過・復興の歩みの全体像を学ぶことができる。



浪江町立 請戸小学校
震災で津波被害を受けたが、全員が無事に避難した。現在は震災遺構となっている。



中間貯蔵事業情報センター (CREVAおおくま)
除去土壌等の中間貯蔵の現場から、福島の復興が直面する現在進行形の課題を知る。

12|11
FRI

Jヴィレッジ 8:20
浅野燃焼・フタバスーパーゼロミル 9:00
会澤高圧コンクリート 福島RDM²センター 10:10
棚塩産業団地 11:30
道の駅なみえ 12:00
郡山駅 16:00

食事

朝: ○
昼: ○
夕: ×



Jヴィレッジ
震災・原発事故後、復興の拠点として歩み、再始動を果たした福島復興のシンボル。



浅野燃焼・フタバスーパーゼロミル
福島に新たな拠点を構えた企業から、地域とともに進める新たな産業の動きを知る。



会澤高圧コンクリート 福島RDM²センター
福島を舞台に進む研究開発・技術革新から、復興の先にある新たな挑戦に触れる。

全行程 /
フィールドパートナーが1名同行

フィールドパートナーとは、ツアー中のアテンド、ファシリテートを担当し、中立的・客観的な立場から参加者とともに学びの成果へと導く総合案内人です

記入例 / — 貸切バス 徒歩 ○ 入場観光 ○ 下車観光 △ 車窓観光

お願い / この旅程は運輸機関のダイヤ改正及び各地の道路状況により、多少時間が変更になる場合がございます。現地での出発時間をご確認ください。

※「ホープツーリズム®」は公益財団法人福島県観光物産交流協会の登録商標です(登録番号:7J010)

※写真は全てイメージです。

(お申し込みは1事業所 原則2名以内とさせていただきます)

集合日時 2026年12月10日(木) 9:40

募集人員 15名(最少催行人員10名)

宿泊施設 Jヴィレッジ(洋室・1名1室利用)
※シャワーブースのみ

集合場所 JR郡山駅西口
観光送迎バス乗降場

添乗員 全行程1名同行

利用バス会社 株式会社報徳観光バス

ご旅行代金 郡山駅発着・旅行代金 0円
※集合・解散場所までの交通費は各自負担

食事条件 朝食1回・昼食2回・夕食1回

申込締切日 2026年11月26日(木)
※募集人員に達し次第募集締め切りいたします

旅行企画・実施 株式会社JTB福島支店

企画協力 公益財団法人 福島県観光物産交流協会 / 一般社団法人 ふくしまリアリ

●本事業は公益財団法人福島県観光物産交流協会が実施するホープツーリズム企業研修強化業務の一環で実施するモニターツアーであり、事業費を活用しております。
●旅行終了後1週間以内にA4用紙1枚程度のアンケートにご協力いただきます。●参加対象:ホープツーリズム企業研修モニターツアーに初めて参加される方

認証番号 26-003



HOPETOURISM